

令和元年 5月13日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全  
 (コード番号：8732 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦  
 (TEL. 03-4540-3804)

### 2019年4月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2019年4月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

#### 記

年 月	2019年3月期											
	2018年									2019年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	536	519	478	439	670	606	476	435	547	460	360	698
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	91,552	116,599	101,591	92,238	107,310	84,706	118,371	96,598	91,536	133,017	75,614	77,410
外国為替取引口座数 (単位：口座)	315,872	317,341	318,698	319,983	321,275	322,271	323,931	325,232	326,421	327,859	329,061	330,230
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	62,379	61,817	63,050	63,736	62,506	62,707	62,428	62,361	63,000	62,097	61,685	62,557
一般顧客	57,653	57,015	57,840	58,372	57,290	57,094	57,455	57,530	57,897	57,128	56,678	57,205
金融法人 (B to B)	4,725	4,802	5,209	5,363	5,216	5,613	4,973	4,831	5,103	4,968	5,006	5,351
マネパカード口座数 (単位：口座)	124,965	129,820	134,553	137,762	139,807	141,535	143,219	144,889	146,856	148,845	150,323	151,621

年 月	2020年3月期											
	2019年									2020年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	436											
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	64,962											
外国為替取引口座数 (単位：口座)	331,528											
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	64,226											
一般顧客	57,695											
金融法人 (B to B)	6,531											
マネパカード口座数 (単位：口座)	152,808											

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

#### < 4月次の概況 >

4月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝110円台後半で取引が始まり、良好な米国経済指標の結果や米中通商問題進展への期待を背景に値を上げ、111円台後半までドルが買い進められました。ところがトランプ大統領によるイラン革命防衛隊のテロリスト指定発言や、9日にはIMFによる世界経済成長予想の下方修正がなされたことを背景にドルは売られ、10日には月の安値となる109円台後半をつけました。その後は、良好な米国経済指標結果を背景にドルは買い戻され、24日に月の高値となる112円台前半をつけたのち、111円台半ばで月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、豪ドルの値動きが拡大した他は総じて値動きは小さく、米ドル／円の歴史的とも言える変動率の低迷をはじめとして、全体としての変動率は、2014年夏以来の低水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、前月取引が増加した英ポンド／円の反動減をはじめとして概ね全ての通貨ペアにおいて減少し、全体としては前月比16%減少の649億通貨単位となりました。一方、営業収益は、前月発生したトルコリラに／円による収益底上げの反動減もあり前月比38%減少の436百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,298口座増加の331,528口座、マネパカード口座数は前月比1,187口座増加の152,808口座と底堅く推移した一方、外国為替取引預り証拠金は、国内10連休を前に金融法人からの証拠金の積み増しがあったこと等から、前月比1,669百万円増加の64,226百万円となりました。

以 上